

愛知県高等学校文化連盟美術・工芸専門部展について

愛知県高等学校文化連盟美術・工芸専門部展は（以下、高文連美工専門部展）、1986年、愛知県内高等学校の文化活動の健全な発展を図ることを目的とした愛知県高等学校文化連盟（注1）の発足に伴い、14の専門部の一部門として設立されました。美工専門部の性格上、生徒作品による展覧会が事業の中心となりました。1986年9月、名古屋北支部、同南支部、尾張支部、知多支部合同で第1回名古屋展（県展）、1987年1月、西三河支部、東三河支部それぞれで第1回地区展を開催しました。

当時、既に愛知県造形教育研究会・高校部会（注2）という美術の教員による研究組織が（以下、愛造研高校部会）「高校生徒美術展」として、名古屋、西三河、東三河3地区で展覧会を主催していました。高文連美工専門部として三地区で新に会場を探すこと、展覧会を二つ持つ事への生徒、教員の負担を考え、愛造研高校部会と高文連美工専門部との共催という形で美術展を開催してきました。当時は、高校での芸術の単位数は4単位ありましたので、各高等学校等には美術の専任教師も多く配置されており、殆どの美術担当教師が美術部の顧問をしていた関係で共催という形が円滑にできたと思います。

その後、教育課程改訂に際し芸術の必修単位数が3単位から2単位に減単されるに伴い、美術の専任教師が減る傾向にある中で、美術以外の他教科の先生方が美術部の顧問をされるようになり、高文連美工専門部としても転機を迎えることとなりました。愛造研高校部会が1947年から63年間、造形教育の一環として取り組んできた「高校生徒美術展」（1986年からは共催）は終了し、2010年より「愛知県高等学校文化連盟美術・工芸専門部展」として名古屋支部展（名古屋北支部、同南支部、尾張支部、知多支部合同）、西三河支部展（西三河地区）、東三河支部展（東三河地区）の3美術・工芸展を開催します。

今年度の展示作品も、歴史と記憶の1頁に加わっていくことでしょう。「高校生」が日々切磋琢磨し真摯な姿勢で取り組んだ美術・工芸作品の成果をごゆっくりとご鑑賞下さい。

（注1）愛知県高等学校文化連盟について

- ・1985（S60） 4月 「高校文化連盟結成準備連絡協議会」発足
7月 「高校文化連盟設立発起人会」発足
10月 「第1回高校文化連盟設立準備委員会」開催
12月 設立総会「愛知県高等学校文化連盟設立大会」開催
- ・1986（S61） 7月 「昭和61年度評議委員会」開催
会長 中川 昌三（県立岡崎高校長）
- ・1987（S62） 8月 「第11回全国高等学校総合文化祭（愛知）」開催

（注2）愛知県高等学校美術・工芸教育研究会（旧愛知県造形教育研究会高校部会）について

- ・1946（S21） 5月 小中学校を中心とした愛知県美術教育連盟結成
（愛知県造形教育研究会の母体となるもの）
- ・1947（S22） 5月 小学校図画展覧会（丸栄百貨店）
・・・第1回展としてここからカウントしていると思われる。
- ・1960（S35） 11月 高校を中心とした愛知県造形教育協会発足
- ・1963（S38） 11月 愛知県美術教育連盟、愛知県造形教育協会共催総会で一体化する。
- ・1970（S45） 12月 東三地区高校生徒美術展開催
- ・1977（S52） 1月 西三地区高校生徒美術展開催
- ・1986（S61） 9月 高文連（美術・工芸）展（名古屋展開催）高校生徒美術展と共催
- ・1987（S62） 1月 高文連（美術・工芸）展（東三地区展開催）高校生徒美術展と共催
- ・1987（S62） 1月 高文連（美術・工芸）展（西三地区展開催）高校生徒美術展と共催
- ・2013（H25） 5月 愛知県高等学校美術・工芸教育研究会に改称